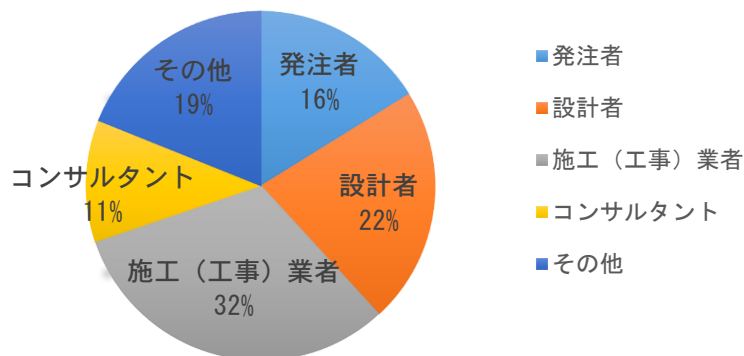


【平成 27 年度「さびを防ぐ」講演会 アンケート集計結果】

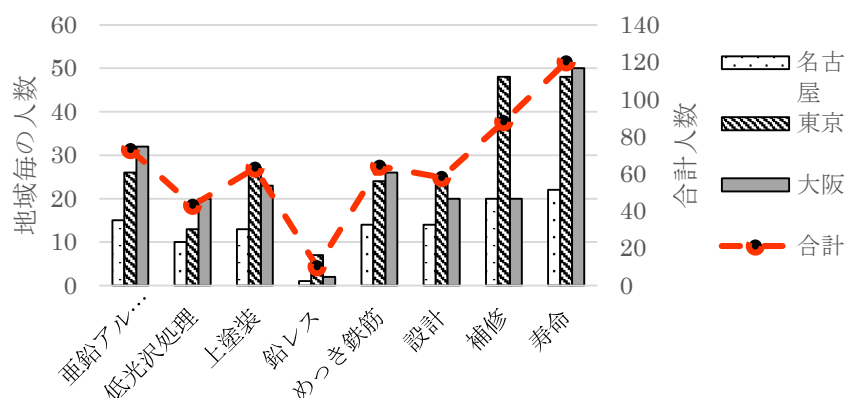
■ 受講者のご職業

発注者、および発注に大きい影響力を及ぼす設計者が受講者の約 4 割をしめていました。



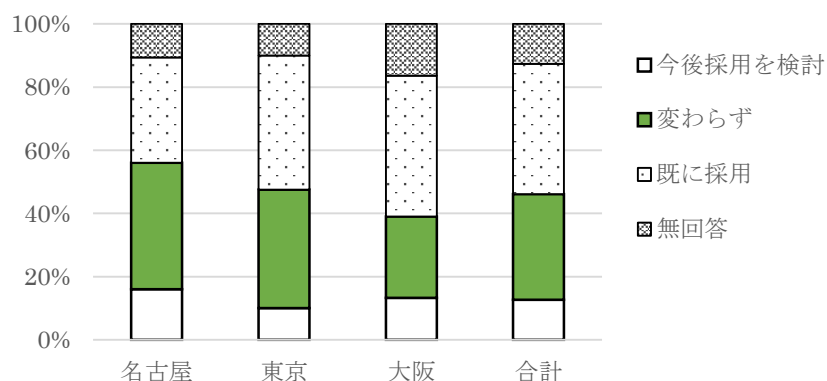
■ 関心事項

名古屋、東京、大阪のどの地域を見ても、溶融亜鉛めっきへの関心事項の第一位は「寿命」でした。寿命の継続的な対策は「補修」であり、施工時対策としては「亜鉛アルミ合金」、「上塗装」、「めっき鉄筋」が有効であると考えておられると整理できます。



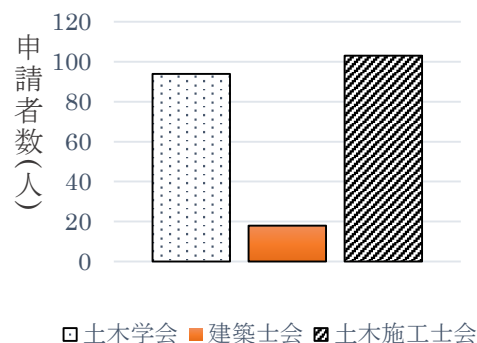
■ 溶融亜鉛めっきに対する認識の変化

講演会後のめっきに対する認識の変化について、4 割強の参加者の方が既に採用、1 割強の方から今後めっき採用を検討していくとの有り難いご回答をいただきました。



■CPD 申請者

本講演会は、公益社団法人 土木学会、公益社団法人 日本建築士会連合会、一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会から CPD (Continuing Professional Development) プロバイダーとして認定されております。本講演会における CPD 単位申請者は、参加者数 436 名の約半数の 215 名に達しています。



■出前講座、技術コンサルタントへの興味

出前講座、技術相談に関心があるかという問に対して、13%の方から関心ありとのご回答をいただきました。関心を抱いていた皆様方にこれから誠実に対応して参ります。

